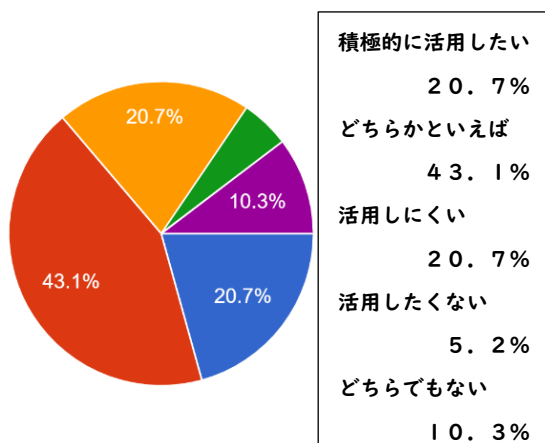


Q.オンライン相談を活用したいか



オンライン相談を「活用したい」とする理由の多くが、「巡回相談を実施した上で、少しでも相談の回数が増えるのであれば」というものでした。

「対面の方が話しやすい」「学校全体の支援体制なども見てほしい」「オンラインでは子どもの実態が伝わりにくい」など、**対面での相談を望む声や、オンライン相談への不安**が多く寄せられました。

相談内容によって、または2回目以降の相談で、オンライン相談や**来校相談**を検討していただければと思います。

「もっと気軽に相談したい」というご意見もいただきました。本校では、**電話相談**も行っています。日常的な相談窓口として、お気軽にお電話ください。



Q. 特別支援教育推進における課題を教えてください



全校種に共通する最も多かった課題が、「**マンパワーと時間の不足**」でした。

「通常の学級に支援が必要な児童が増えているのに、支援員が足りない。」「人的支援が必要な生徒が多く、支援が行き届かない」「研修の時間が足りない」「効果的な支援を一つ一つ考えるだけの時間がまわらない」など切実な意見が多数寄せられました。

一方、「校内支援体制を柔軟に見直し、支援を要する児童の取り出し支援をしている。」「毎週1回、児童理解の場を設け、気になることなどを話し合っている」など、前向きな取組も寄せられました。

今後も、限られた人員と時間の中でできる工夫や、更なる校内支援体制の強化を、一緒に考えさせていただければと思います。

お忙しい先生方も、まずはここから……， お役立ち資料 検索



★ 就学前の子どもさんを支援する先生方

「幼稚園・保育所・認定こども園における特別支援教育の充実」
令和7年7月 鹿児島県教育委員会

(ダウンロード&印刷して園に一冊。困ったときに頼りになります。)



★ 小・中学校の先生方

「学びの場の変更に係る「段階的な検討のプロセス」の手引き」
令和6年1月 鹿児島県教育委員会

(資料集やQRコードも役立ちます。)



★ 高等学校の先生方

「高等学校用特別支援教育パッケージ」

令和5年3月 鹿児島県総合教育センター

(そのまま使える「口述付きプレゼン資料」や「各種チェックリスト」など、即活用可能。)



「巡回相談後、子どもたちが少しずつ変わり、何より担任の表情が明るくなった」など、うれしい感想を多数いただきました。
先生方を後押しできるような、互いに元気が出るような相談や研修を目指します。今後ともよろしくお願いいたします。

